

# 環境マネジメント E



エスビー食品グループでは、「食卓に、自然としあわせを。」という企業理念のもと、地球環境保全を経営上の重要な課題の一つとして、企業活動から生じる環境負荷の低減および循環型社会への貢献を目指します。

## 環境基本方針

- 1 国内外法規制遵守
- 2 環境目的・目標の設定
- 3 環境負荷の低減
- 4 商品開発
- 5 環境教育
- 6 地域との共生

環境基本方針  
<https://www.sbffoods.co.jp/company/sustainability/environment/policy.html>



## CO<sub>2</sub>排出量削減に向けた中長期目標の設定（「2050年カーボンニュートラル」目標）

エスビー食品グループは、環境基本方針に基づき、環境負荷低減活動を推進しています。CO<sub>2</sub>の排出量削減に関しても、取組みを進めてきましたが、2021

年10月、「2050年カーボンニュートラル」目標を新たに決めました。

### エスビー食品グループ全体のCO<sub>2</sub>排出量削減目標

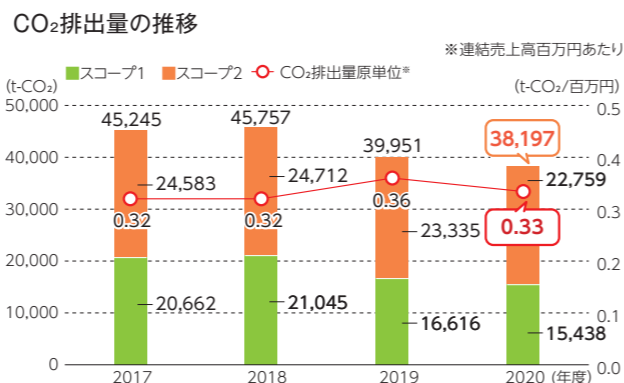
- 1 2050年カーボンニュートラルを目指します。
- 2 2030年までにCO<sub>2</sub>排出量50%削減を目指します。（2019年度比 スコープ1・2相当）
- 3 2030年までにサプライチェーンCO<sub>2</sub>排出量30%削減を目指します。（2019年度比 スコープ3相当）

エスビー食品グループのCO<sub>2</sub>排出量は、目標の基準年としている2019年度において、事業活動に伴う直接排出のスコープ1と間接排出のスコープ2の合計で約4万t-CO<sub>2</sub>でした。そして、製品の使用・廃棄、輸送、従業員の出張・通勤、その他の排出であるスコープ3を加えたサプライチェーン全体のCO<sub>2</sub>総排出量は約44万t-CO<sub>2</sub>で、スコープ3が全体の約9割を占めています。スコープ1およびスコープ2については、2030年度に2019年度比50%削減を目指していま

す。この目標を達成するための施策として、省エネルギー活動やCO<sub>2</sub>発生量の少ない燃料への転換、バイオマス、太陽光をはじめとする再生可能エネルギー利用などの検討を進めていきます。スコープ3については、2030年度に2019年度比30%削減を目標としています。特に、原材料がサプライチェーン全体のCO<sub>2</sub>総排出量の約6割を占めていることから、原料サプライヤーとのCO<sub>2</sub>排出量削減に向けた対話・連携などに取り組んでいきます。

## CO<sub>2</sub>排出量の削減

エスビー食品グループでは、工場や各事業所の照明のLED化・人感センサー化、老朽設備の更新、空調や冷凍・冷蔵機の計画的な更新を順次行い、省エネルギー化を進めています。それらの取組みにより、CO<sub>2</sub>排出量は前年度比で約4.4%（1,754t-CO<sub>2</sub>）削減しました。また、「2050年カーボンニュートラル」目標に合わせて、2019年度のサプライチェーンCO<sub>2</sub>排出量（スコープ3=401,155t）を算出しました。引き続き、2020年度についてもスコープ3算出を進めていきます。

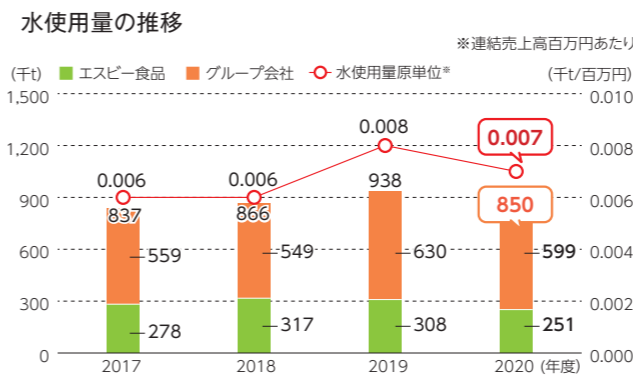


## 自然冷媒の使用

上田工場では、2019年12月より自然冷媒式冷却設備の稼働を開始しました。また、エスビーガーリック食品（株）高田工場では、2020年1月よりフロン冷媒式冷却装置から自然冷媒式冷却装置へ切り替えを行うことで2020年度はCO<sub>2</sub>排出量を105.5t削減することができました。フロンを使用しない自然冷媒を使用した高効率の冷却設備により、オゾン層破壊や地球温暖化などの環境課題解決、CO<sub>2</sub>排出量削減に取り組んでいます。

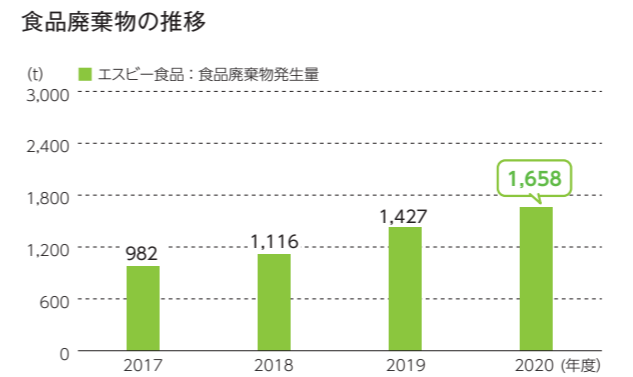
## 水使用量の削減

エスビー食品グループでは、水使用量を削減するために、生産品目群の整理、製造工程の見直しや工場の再編を進めています。2020年度は2019年度と比較して、水使用量を抑えた生産活動を行うことができました。



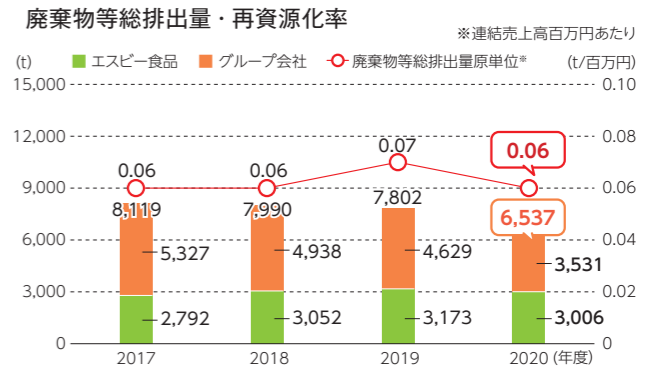
## 食品廃棄物の削減

エスビー食品では、食品廃棄物の削減に取り組んでいます。2020年度は生産数量の増加により廃棄物の発生量についても増加しましたが、日々継続的な改善を行っています。



## 廃棄物の削減とリサイクルの促進

エスビー食品グループ全体で、2020年度の廃棄物等総排出量<sup>※1</sup>は2019年度対比で約16.2%（1,265t）減らすことができ、再資源化率<sup>※2</sup>も95.0%と高水準を維持しました。



※1 廃棄物等総排出量：事業者がその敷地外に、排出・搬出したもの（製品・サービスなどの提供に伴い出荷したものを除く）。  
 ※2 再資源化率：廃棄物等総排出量のうち、再利用、再生利用および熱回収量（サマールリサイクル）の占める比率です。

## 麻袋のリサイクル

エスビー食品グループにとっての基幹原料であるスパイスとハーブの原料の一部は、世界中の産地から「麻袋」に入れられて工場に運ばれてきます。この「麻袋」を廃棄するのではなく、粉砕し、その繊維を漉き込んだ紙としてよみがえらせることで、「麻」をリサイクルしています。出来上がった紙は2019年より名刺に使用しています。



「麻」の繊維を漉き込ませた名刺

【関連情報】  
 環境マネジメント  
<https://www.sbffoods.co.jp/company/sustainability/environment/management/>  
 環境会計  
<https://www.sbffoods.co.jp/company/sustainability/environment/management/accounting.html>